

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15000

農業施設改良事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	3	農林水産業の活性化
施策	1	農林業の振興
取組方針	2	農地の保全と生産基盤の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	耕地課	南 秀樹
事業実施の根拠法令			関連課	435-1051		

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	農業従事者が生産に専念できるよう農業施設の更なる環境整備を行うとともに、ため池改修を行い、防災減災に資することを目的とし、併せて非農業従事者の市民生活の安定を図ることを目的とする。		農業施設の改良を行うことで、農業基盤の充実に努め、農業生産性の向上及び防災減災を推し進めるとともに、主に調整区域内の市民生活の充実を推し進める。			
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	
	・農道・水路・ため池等農業施設の改良工事 ・農道舗装改良工事 ・ため池改修に伴う各ため池の全体計画書作成業務 ・県営農業施設整備事業に係る負担金	・農道・水路・ため池等農業施設の改良工事 ・農道舗装改良工事 ・ため池改修に伴う各ため池の全体計画書作成業務 ・県営農業施設整備事業に係る負担金	・農道・水路・ため池等農業施設の改良工事 ・農道舗装改良工事 ・ため池改修に伴う各ため池の全体計画書作成業務 ・県営農業施設整備事業に係る負担金	・農道・水路・ため池等農業施設の改良工事 ・農道舗装改良工事 ・ため池改修に伴う各ため池の全体計画書作成業務 ・県営農業施設整備事業に係る負担金	・農道・水路・ため池等農業施設の改良工事 ・農道舗装改良工事 ・ため池改修に伴う各ため池の全体計画書作成業務 ・県営農業施設整備事業に係る負担金	・農道・水路・ため池等農業施設の改良工事 ・農道舗装改良工事 ・ため池改修に伴う各ため池の全体計画書作成業務 ・県営農業施設整備事業に係る負担金

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	131,777	146,945	145,630	134,910	183,359	194,539	142,108	0	142,108	0
伸び率(%)	20.5%	53.1%	10.5%	△8.2%	25.9%	44.2%	△22.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	53,946	62,098	64,513	60,405	65,448	59,477	60,193	0	60,193
	正規職員以外	2,136	1,663	1,119	619	504	3,430	3,339	0	3,339
	小計	56,082	63,761	65,632	61,024	65,952	62,907	63,532	0	63,532
国庫支出金	30,250	34,034	35,946	15,750	0	0	0	0	0	0
県支出金	4,750	4,750	5,850	22,115	42,055	47,200	24,254	0	24,254	0
市債	84,400	93,500	91,200	92,900	133,200	145,000	114,100	0	114,100	0
その他	0	1,050	0	0	0	31	0	0	0	0
一般財源(税等)	12,377	13,611	12,634	4,145	8,104	2,308	3,754	0	3,754	0
所要人数(人)	正規職員	6.75	7.77	8.01	7.50	8.22	7.47	7.56	0.00	7.56
	正規職員以外	0.95	0.62	0.53	0.28	0.76	0.77	0.77	0.00	0.77
主な予算内訳	農業施設改良工事請負費：82,320千円、県営排水施設整備事業負担金：35,660千円、県営ため池整備事業負担金：22,200千円、測量設計委託料：13,776千円、設計委託料：12,050千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
工事件数		件	目標値	30	23	25	25	25
			実績値	27	18	22		
			達成度(%)	90.0%	78.3%	88.0%	%	%
改良工事を行った整備延長距離		m	目標値	1,465	1,045	1,070	1,070	1,070
			実績値	1,643	1,148	975		
			達成度(%)	112.2%	109.9%	91.1%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	生活関連事業であり、方向性については、現状維持で行うことが望ましく、また既存の農業用施設の機能改良を行っていき、和歌山市の安心・安全な農業の振興に努めてまいります。また、コスト投入についても現状維持で生活基盤を維持していくことが望ましいと考えております。
見直し・改善内容	農業従事者の利便性を向上させるため、より計画的かつ有効な施設改良を行うとともに、増加し続ける住民の要望にも対応していくため、地域の現状を勘案しつつ、事業の実施に努めていきます。